第222号
昭和43年10月1日

昭和29年10月15日
第3種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

10月の広報ごよみ

○赤い羽根共同募金運動
1日～12月31日
○体育の日　10日
○秋の全国交通安全運動
11日～20日
○国連の日　24日

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市城内3番22号
編集兼発行人
平野　進
株式会社文進堂印刷
全世帯配布

小田原市の推計人口
9月1日現在
人口　152,568人
世帯数　75,609人
男女別人口　76,959人
男性　35,807人
女性　40,152人
月の世帯増減　416人増
月の人口増減　88人増
前月との比較　328人増
19世帯減

片岡助役、石井収入役など再任

一般会計二億一千万円を補正

市議会9月定例会

市議会9月定例会は、去る九月二十日から開会され、十日間の審議の結果、補正予算案、条例の一部改正、人事案件など、いずれも原案どおり可決されました。

まず、補正予算案については、一般会計二億一千万円を補正することになりました。

この補正は、昭和四十三年度小田原市一般会計予算の補正で、歳入歳出それぞれ二億一千万円を追加し、歳入歳出総額を、それぞれ、二億一千万円増額して、三億三千万円とするものです。

歳入の主なものは、国庫支出金、県支出金、繰入金、諸収入、市債などで、歳出の主なものは、総務費、民生費、衛生費、土木費、教育費、公債費などです。

次に、条例の改正については、次の条例が、原案どおり可決されました。

○小田原市消防団員に係る退職報償金の給付に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、消防団員等公務災害補償条例の一部を改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、非常勤消防団員等の公務災害補償の基礎となる給与の額を、日額、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員に係る退職報償金の給付に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、消防団員の退職報償金を、一万二千円から、一万五千円に改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行令の一部を改正する条例

この条例は、消防団員等公務災害補償条例施行令の一部を改正することになりました。

○小田原市消防団員に係る退職報償金の給付に関する条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、消防団員に係る退職報償金の給付に関する条例施行規則の一部を改正することになりました。

○小田原市消防団員等公務災害補償条例施行規則の一部を改正する条例

この条例は、消防団員等公務災害補償

秋の全国交通安全運動

10月11日～20日

恐ろしいシンナー遊び

その実態と防止策

最近、中毒者による傷害事件が多発しており、大きな社会問題となりました。殺人事件の犯人の中にもシンナーの影響を受けていたものがあるなど、まことに恐ろしい限りです。

シンナーは、ペイント、ボンド等の溶剤として、大きな役割を果たしていますが、その成分は、トルエン、キシレン、酢酸エチル、酢酸ブチル、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、ベンゼン、ノルマルヘキサン、ノルマルブタノール、ノルマルプロピルアルコール、ノルマルブチルアルコール、イソブチルアルコール、ノルマルペンタノール、イソペンタノール、ノルマルヘプタノール、ノルマルヘキサノール、ノルマルヘプタン、ノルマルヘキサン、ノルマルペンタン、ノルマルブタン、ノルマルプロパン、ノルマルブチルエーテル

片浦地区自治会など表彰

愛の血液助け合いのつどい

「献血推進はいかにすべきか」の公開座談会

律田知事、鈴木小田原市長、中川県議会議長、田口副議長等の出席さ、安藤県議会議員、加藤県議会議員（他）の出席をみて、去る9月26日（木）午後1時、献血推進協力者表彰式を兼ねた献血推進のつどいが、県、小田原市、日本赤十字社、小田原市赤十字奉仕団、小田原市婦人会、小田原市連合自治会、小田原市連合婦人会、小田原市連合青年団、小田原市連合老人クラブ、小田原市連合PTA、小田原市連合民生委員、小田原市連合保護司

墓前祭や遺跡めぐりなど

第13回 尊徳祭終わる

郷土の偉人二宮尊徳翁の命日（9月25日）を中心に、尊徳祭が、9月21日から23日まで、小田原駅前を中心に行なわれました。

今年は、「尊徳の心を生かす」をテーマに、墓前祭や遺跡めぐりなどの行事が、盛大に行なわれました。

墓前祭は、23日の午前10時から、報徳二宮神社で、関係者一同が、尊徳翁の墓前に、玉ぐしを捧げ、ご冥福を祈りました。

また、報徳中学校生徒会の、「尊徳翁の歌」の合唱が、墓前に捧げられました。

なお、この日、報徳二宮神社の、例大祭が、盛大に、行なわれました。

秘史展開始百年

市立郷土資料館で、明治百年を記念して、十月二十五日から、十月十七日まで、「秘史展開始百年」と題して、開催されました。

この展示は、明治初年、小田原藩が、廃藩置県に伴なう、藩政の、改革を、明治維新の、大きな、試練であった。

また、「歴史年譜」を、作成し、明治維新の、歴史を、明らかにしました。

墓前祭

昭和四十二年に、報徳会館前に、墓前祭が、発足の、歴史を、相応の、意義を、と、報徳会、小田原市、小田原市教育委員会、報徳二宮神社、報徳会館、報徳中学校、報徳学園、報徳学園高等学校、報徳学園中学校、報徳学園幼稚